

「二学きにがんばったこと」

一ねん一くみ 尾形雫月（おがた・しずく）

わたしは、学げいかいのさいゆうきで、金かくをやったことがこころにのこっています。やくをきめるとき、だれも手をあげなかったので、じぶんで手をあげました。学校やいえで、まい日れんしゅうしました。まえを見て、大きなこえでいえるようにがんばりました。金かくのおどりがむずかしかったので、みんなを見ていっしょうけんめいおぼえました。れんしゅうをするとだんだんうまくなりました。

ほんばんでははじめての学げいかいでどきどきしたけど、おきゃくさんのまえで、じょうずにできて、うれしかったです。

学げいかいがおわってから、みんなのまえでおはなしするとき、大きいこえでいえるようになりました。それから、わたしは、三ねん生のろうどくげきを見てかんどうしました。わたしも、三ねんせいみたいによみたいとおもいました。これから、こくごのきょうかしよをよむときに、きもちをこめてよめるようにがんばります。